

講演会を開催します (2/29 14:00~16:00) 「自動運転技術の社会的インパクト」

第27回関西館資料展示「図書館で駆け抜ける！クルマの世界」の関連イベントとして、三好博昭氏（同志社大学政策学部教授、技術・企業・国際競争力研究センター長）をお招きし、自動運転技術が私たちの生活や社会に与える影響についてお話しいただきます。

○概要

日時：令和2年2月29日（土）14:00-16:00

会場：国立国会図書館関西館 第1研修室（1階）

定員：70名（先着順）

申込方法：WebフォームまたはFAXで申込み

URL：https://www.ndl.go.jp/jp/event/events/kansai_20200229.html

○講師紹介

同志社大学政策学部教授、技術・企業・国際競争力研究センター長 三好博昭氏
博士（国際公共政策、大阪大学）。民間シンクタンクの研究員を経て、2004年から同志社大学研究開発推進機構専任フェロー（教授）。2008年から大学院総合政策科学研究科教授。2017年から政策学部教授。2016年から同志社大学技術・企業・国際競争力研究センター長兼任。2019年5月から内閣府SIP第2期自動運転国際連携WG Impact Assessment リーダー。



○講師から

自動運転の経済的性質を、「外部性」や「交通の時間価値」といった経済学の概念を使用して解説します。その上で、自動運転の普及が、交通事故の削減や交通制約者のモビリティ確保といった社会的課題の解決にどのように貢献するのか、そして長期的に、人々の居住地や勤務地、日々の営み、都市の構造等にどのようなインパクトを与えるのかを展望します。